

日本海洋掘削（株） 倒産日 2018年6月22日
 [証券コード：1606 東証1部上場 日経36業種：鉱業]



【左軸:時価総額（百万円）、右軸:自己資本比率（%）】

日本海洋掘削は石油・天然ガスの探鉱・開発を行う海洋掘削会社である。

海洋掘削市況の長期低迷に伴う業績悪化に加え、掘削装置（リグ）への過剰投資で単独ベースの負債総額が約900億円まで膨らみ、2018年3月期末に155億円の債務超過となっていた。大株主の支援も得られず、自力での再建は難しいと判断し、2018年6月22日に東京地裁へ会社更生法の適用を申請することになった。(注1)

◆過去3カ年主要財務項目の推移

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
時価総額	42,372	41,958	35,496
負債	56,243	50,397	85,964
営業利益	-2,550	-11,063	-11,446
経常利益	-3,219	-11,516	-12,055
当期純利益	-7,017	-23,053	-45,459

(単位:百万円 金融工学研究所調べ)

注1:日経電子版 2018年6月25日付を元に金融工学研究所が記載



【左軸:時価総額（百万円）】

上場企業に対し、株価の変動と財務指標で信用力（DCRI）を測定する弊社製品 DEFENSE(ver5)では、2015年初めの時点で当該企業を bbb+格で評価していた。2017年3月期決算は掘削装置（リグ）の減損損失の影響もあり、2期連続の最終赤字となったことから、2017年5月には bb+格まで下落。2018年3月期決算では、さらなるリグ稼働率の落ち込みもあり、155億円の債務超過に転落したことから、b格まで下落した。その後も株価の低迷から、倒産1週間前時点では b-格で評価していた。また、日次評価でも、2018年6月22日の株価基準日での評価が b-格となっている。

◆倒産時点より遡った DEFENSE の主要項目

	104 週前	52 週前	26 週前	12 週前	4 週前
DCRI	8.96	10.13	10.362	11.652	14.562
DCR	bbb	bb+	bb+	bb	b
Status	Green-2	Yellow-1	Yellow-1	Yellow-2	Red-2
DCRI 業種平均	8.765	8.154	7.996	8.578	8.891
DCRI 業種中央値	8.882	8.158	8.014	8.442	8.482

DEFENSE の Status は 6 段階（※）で表現しており、その中で Red-1、Red-2 は相対的に信用力に問題のある企業に対するシグナルとなっている。

※Green-1、Green-2、Yellow-1、Yellow-2、Red-1、Red-2

「Default Event Study（デフォルトイベントスタディ）」のお問い合わせは、下記までご連絡をお願い致します。
株式会社 金融工学研究所 Tel 03-6273-7743 FAX 03-6273-7973 URL <http://www.ftri.co.jp/>

「デフォルトイベントスタディ」の著作権は㈱金融工学研究所に帰属し、その目的を問わず、情報の全部または一部を無断で引用または複製することを禁じます。「デフォルトイベントスタディ」は、信頼に足ると判断したデータ、情報を掲載していますが、㈱金融工学研究所は、その正確性、確実性、有用性を保証するものではありません。また、㈱金融工学研究所は、「デフォルトイベントスタディ」の直接的および間接的を問わず、その使用により結果として生じた損害、損失、紛争に関して、一切補償致しません。